

国立大学法人 長岡技術科学大学  
令和7年度第6回経営協議会議事要旨

日 時 令和8年3月18日(水) 14時30分～16時28分  
場 所 KKRホテル東京【白鳥の間】  
出席者 鎌土議長、天羽委員、池田委員、萱島委員、合田委員、関委員、谷口委員、トラン委員、森澤委員、武田委員、山下委員、吉田委員、上地委員、鈴木委員、岩橋委員、宮下委員、湯川委員  
(議事の表決委任による出席：石橋委員、磯田委員、井上委員、西岡委員)  
陪 席 馬場監事、野本監事  
事務局 事務局次長(総務担当)、監査室長、企画・広報室長、財務課長、人事労務室長、総務課参事、人事労務室専門員、総務課専門員、財務課財務企画係長、人事労務室人事係長、総務課専門職員、総務課総務係員

配付資料

令和7年度第5回経営協議会議事要旨(案)

資料1 : 国立大学法人長岡技術科学大学令和8年度の計画(案)

資料2-1 : 就業規則の一部改正について

資料2-2 : 国立大学法人長岡技術科学大学職員給与規則の一部改正(案)新旧対照表

資料2-3 : 国立大学法人長岡技術科学大学年俸制適用職員給与規則の一部改正(案)新旧対照表

資料2-4 : 国立大学法人長岡技術科学大学新年俸制適用職員給与規則の一部改正(案)新旧対照表

資料2-5 : 国立大学法人長岡技術科学大学短時間再雇用職員就業規則の一部改正(案)新旧対照表

資料2-6 : 国立大学法人長岡技術科学大学基本給等の支給規則の一部改正(案)新旧対照表

資料2-7 : 国立大学法人長岡技術科学大学職員の初任給、昇格、昇給等の基準に関する規程の一部改正(案)新旧対照表

資料2-8 : 国立大学法人長岡技術科学大学初任給調整手当規程の一部改正(案)新旧対照表

資料2-9 : 国立大学法人長岡技術科学大学扶養手当規程の一部改正(案)新旧対照表

資料2-10 : 国立大学法人長岡技術科学大学通勤手当規程の一部改正(案)新旧対照表

資料3 : 特命理事規則の制定について

資料4 : 目的積立金の使途について(案)

資料5-1 : 令和8年度長岡技術科学大学運営経費予算編成(案)のポイント

資料5-2 : 令和8年度長岡技術科学大学運営経費予算編成(案)の概略

資料5-3 : 令和8年度長岡技術科学大学運営経費予算(案)

資料5-4 : 令和8年度間接経費(全学共通分)の執行について(案)

資料6-1 : 減価償却引当特定資産について

資料6-2 : 国立大学法人長岡技術科学大学減価償却引当特定資産取扱規程(案)

報告1-1 : 国立大学法人等の組織及び業務全般の見直し等に関するワーキンググループによる各法人とのヒアリング・意見交換の実施に向けた調書の作成等について

報告1-2 : 第5期に向けた国立大学法人等とのヒアリング・意見交換に係る説明会資料

報告2-1 : 令和7年度実施大学機関別認証評価評価結果(案)

報告2-2 : 大学機関別認証評価評価結果(案)においてコメントがあった事項

報告3 : ネーミングライツ事業の命名権者の採用について

報告4 : 令和8年度経営協議会日程

議事に先立ち、鎌土議長から令和7年度第5回経営協議会議事要旨（案）について説明があり、これを承認した。

#### 【審議事項】

##### 1. 令和8年度の計画について

武田委員から資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答）

○項目【5-1-3】では、第3期基準で社会人向け教育コンテンツの受講者を「0人」としているが、第4期目標値では「60人」、更に令和8年度目標値ではそれを大きく上回る数値が設定されている。この目標値の設定根拠について確認したい。

●第3期に基準値をたてた時点では実績や比較データがなく需要の有無についても不明だったため、抑え目に設定していた。その後、経済産業省の採択事業に関連して社会人向けコンテンツを作成し無料公開したところ、想定以上の需要が確認されたため、令和8年度は相当数の目標値を設定した。

○項目【11】の内部統制・ガバナンス体制に関して、ステークホルダーの記載が中心でコンプライアンスへの取組がほとんど見えない点を懸念している。コンプライアンスはガバナンスの非常に重要なポイントであるため、取組状況などがわかる具体的項目を盛り込むことを検討願いたい。

○項目【AP4-(4)-1】国際共同研究について、「第4期中期目標期間最終年度までに、第3期中期目標期間における実績と同水準以上実施する」との方針が示されている一方で、第4期中期計画の目標値はそれを下回った数値である。この目標値の設定根拠について確認したい。

●目標値を設定した時点がコロナ禍だったため、実施件数の落ち込みを加味した設定とした。具体的には、第3期までの平均は年間5件ほどであり、コロナ初期の2年は年間2件程度とし、それ以降は平均水準に戻るという想定で算定した。

○項目【15-1-2】の業務書類の100%電子化については、第3期から比べると目標値がかなり高くなっているが、電子化の目的はそれにより効率化を図ることであるので、「100%」は効率化に資する業務文書を前提とした電子化目標として理解すべきで、非効率化を招く運用は避けるようにしていただきたいと考える。

○項目【AP4】のグローバル化については、本来の中期目標の項目でないため目標値等の記載がないが、現状や将来の目標値のようなものがないと達成状況がわかりにくいと、何らかの指標や記載を検討願いたい。

●数値化しにくいグローバル化の達成状況は、意識調査やアンケートなどを適宜実施して把握しており、また、これらの事項については関連する複数のプロジェクトの進捗に合わせて、最終的には各プロジェクトの報告書等の目標値等に反映される見込みである。

○項目【9-1】について、若手教員の採用割合は高い一方で、女性教員や外国人教員割合の達成率が低いようである。女性・外国人教員比率が伸び悩んでいる理由について確認したい。

●女性教員比率については、女性限定公募なども実施しているが採用に至らないケースが多く、

採用できても工学系女性教員の獲得競争で他大学に流出することがあり、比率が伸びにくい。外国人教員については、応募数自体は多いが、求める研究分野・人材とマッチングするケースが少なく、加えて学内業務等で一定の日本語能力が必要な点も障壁となるため、受入環境の整備や応募者の見極めを行い、優秀な人材の採用と育成の両面を進めていくことが重要と考えている。

2. 就業規則等の一部改正について

上地委員から資料2-1から資料2-10に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 国立大学法人長岡技術科学大学特命理事規則の制定について

鎌土議長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 目的積立金の使途について

上地委員から資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。(○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答)

○使途として防犯強化事業が上がってきているが、何か留意することがあったのか。

●特記するようなことがあったわけではない。今まであまり議論してこなかった部分で、セキュリティゾーンの構築やゾーニングをして学生の安全を図っていくために、必要であれば今後検討をしていきたい。

○目的積立金の使途について、設備面ばかりでなく知財活用のための調査や仕組みの構築など、資金獲得のための事業にも予算を振り分けてみてはどうか。

●資金をどうやって獲得するかについては、今まさに取り組んでおり、大学設備の外部との共有化やネーミングライツ事業等のほか、イノベーションコモンズを構築することにより、外部の人との交流の中で資金集め等にも繋げていきたいと考えている。今後、研究基盤のマネジメントを強化していくなかで研究シーズや研究機器のリソースの活用等、企業から出資してもらう仕組みを考えていきたい。

5. 令和8年度長岡技術科学大学予算の編成について

上地委員から資料5-1から資料5-4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。(○：学外委員からの質問、意見等●：大学からの回答)

○卓越大学院プログラムの新規入学者の「募集停止」はどういうことか。

●卓越大学院プログラムの事業期間終了に伴い、新規入学者の募集を止めたということである。

○物価高騰のおり、これらの予算編成は今後の設備関係等の物価高騰を見込んだ試算をしているか。

●設備については大学運営経費で購入する様な案件はあまりなく、概ねはプロジェクト事業での購入となるため、そちらでの対応となる。時期が遅くなるほどと物価が高騰すると思われるので、調達のタイミング等を見極めながら対応していきたい。

6. 国立大学法人長岡技術科学大学減価償却引当特定資産取扱規程の制定について

上地委員から資料6-1及び資料6-2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

**【報告事項】**

1. 第5期に向けた組織及び業務全般の見直し等に関する文部科学省高等教育局によるヒアリングについて  
上地委員から報告1-1及び報告1-2に基づき報告があった。
2. 大学機関別認証評価の評価結果（案）について  
武田委員から報告2-1及び報告2-2に基づき報告があった。
3. ネーミングライツ事業について  
武田委員から報告3に基づき報告があった。
4. 令和8年度経営協議会日程について  
鎌土議長から報告4に基づき報告があった。

以 上